

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 蓼科グランドホテル							
代表者名	氏名	橋 正	役職名	取締役社長				
主たる事務所の所在地	長野県茅野市北山4028番地ロ							
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業						
	中分類	7511 旅館・ホテル						
主たる事業の概要	主として短時間(通例、日を単位とする) 宿泊又は宿泊と食事を一般公衆に提供する営利的な事業所							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外(任意提出)の事業者						
原油換算エネルギー使用量	1516	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	9	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

### 3 計画書(報告書)の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	www.takinoyu.co.jp
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

全体像を把握し、エネルギーがどのように使われているかの全従業員の共通認識を持つ。そのために、日々のミーティングや定例会合を通じて情報の共有化を図り、認識を同じくする。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

別紙添付

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	3,836	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	26	単位	千m <sup>2</sup>	
25年度	調整後排出量	3,464	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	148.49	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>	
目標年度	目標排出量	3,699.8	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	137.76	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	目標削減率	3.55	%	目標削減率	7.22	%		
目標設定に関する説明	ホテル・旅館の業態であるので、お客様に影響の直接出ない範囲で、まず無駄の見直しから行いたい。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	3,714	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	26	単位	千m <sup>2</sup>	
	調整後排出量	3,704	t-CO <sub>2</sub>	原単位	142.85	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>	寄与度の合計から求めた目標削減率※
26年度	削減率	3.18	%	削減率	3.79	%		
排出量等の増減理由	貫流ボイラーの小型化、給湯ボイラーの熱交換器更新、ヒートポンプの導入(本格稼働はまだ)							
第二年度	排出量	3,465	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	26	単位	千m <sup>2</sup>	
	調整後排出量	3,457	t-CO <sub>2</sub>	原単位	134.13	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>	寄与度の合計から求めた目標削減率※
27年度	削減率	9.67	%	削減率	9.67	%		
排出量等の増減理由	給湯ボイラーの熱交換器更新、ヒートポンプの導入 LED電球の導入							
第三年度	排出量	3,651	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	26	単位	千m <sup>2</sup>	
	調整後排出量	3,640	t-CO <sub>2</sub>	原単位	141.33	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>	寄与度の合計から求めた目標削減率※
28年度	削減率	4.82	%	削減率	4.82	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	ヒートポンプを昼間時間も運転しているため ※27年度提出の計画書の排出量等について、液化石油ガス(LPG)の年間使用量がt単位に計算変換されてなく排出量数値に誤りがあったため、28年度計画書にて修正を行った 27年度 LPG年間使用量 誤: 21 t 正: 45 t 27年度 排出量 誤: 3,393t-CO <sub>2</sub> 正: 3,465t-CO <sub>2</sub> 27年度 調整後排出量 誤: 3,385t-CO <sub>2</sub> 正: 3,457t-CO <sub>2</sub>							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	10	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	110201 日常点検・定期点検	26年度	35	26~28年度	
2	エネ起	120204 熱交換器のスケール除去	26年度	35	毎年	
3	エネ起	150201 照明器具の清掃 適正時期のランプ交換	26年度	18	26~28年度	
4	エネ起	170101 蓄熱式ヒートポンプの設置	26年度	5	27年度	
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	372		10	8	11
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,836	1	3,714			1	3,651
1,500k1未満					1	3,393		
合計	1	3,836	1	3,714	1	3,393	1	3,651

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				
合計	0	0	0	0
自動車総数	9	9	10	9
次世代車導入割合				

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし
公共交通機関の利用促進	自社敷地内に公共交通バスのバス停を設置している
来客者の交通対策	最寄駅まで送迎バスを運行している。
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	特になし
第一年度実績	貫流ボイラーのダウンサイジングしての入れ替え（4分の3に）
第二年度実績	蓄熱式ヒートポンプの導入
第三年度実績	特になし

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	特になし	
その他		



# 温室効果ガス排出抑制の為の組織体制

